

会

報

社団法人日本病理学会

第 164 号 平成 13 年 (2001 年) 6 月刊

1. 第 92 回(平成 15 年度)日本病理学会総会における宿題報告の募集について (公募のお知らせ)

昨年 4 月に開催された総会において、本学会総会の宿題報告の選考に公募制を導入することになりました。

つきましては、平成 15 年春に開催予定の第 92 回日本病理学会総会の宿題報告を下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募願います。

なお、応募内容は以下の要件を満たすことを希望します。

- (1) 国内外の評価のある業績であること。
- (2) 断片としての学術情報ではなく、体系として受け取れる内容であること。
- (3) 演者の示す問題把握のしかた、課題の解決法、学問観等が会員にとっておおいに資するものであること。

記

応募要領

- (1) 自薦、他薦とも受け付けます。何れの場合も、応募資格は日本病理学会学術評議員に限りません。
- (2) 自薦の場合は、候補者名、演題、要旨および関連した代表的な原著論文 10 編以内のリストを A4 版 2 枚以内にワープロで印刷し、論文別冊(ないしそのコピー)をつけて、学会事務局まで送付してください。他薦の場合は、これらに加えて、800 字以内にまとめた推薦理由を添えてください。
- (3) 発送される封筒には、「宿題報告応募抄録」と表記をお願いします。
- (4) 申込み締め切り日：平成 13 年 9 月 20 日(当日消印可)
- (5) 宛先：〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9

ニュー赤門ビル 4F

社団法人 日本病理学会事務局

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

なお、本件は学術委員会が担当し、10 月に委員会を開催して厳正な選考を行います。そこで選考された候補について 11 月の理事会及び総会で審議のうえ、決定します。

問い合わせは、日本病理学会事務局もしくは学術委員長(森 茂郎, FAX 03-5449-5418) までお願いいたします。

2. 日本病理学会会員海外派遣事業について (公募のお知らせ)

日本病理学会には、公益法人として医学を通じて公益に資するという社会的使命があります。また、本学会の目的に会員の研究および調査ならびに知識の普及を助長し、会員相互間の連携を密にすることがあり、特に会員に広く海外の動向を伝えていくことも極めて重要と考えられます。

法人化を機会に病理学に関する研究、教育、診療及び施設・設備全般の事情を視察し病理学会の発展に役立てるため、実績のある会員を海外に派遣する事業が平成 11 年度から開始されました。

国際交流委員会は、今年度の本事業に基づく派遣会員を募集いたします。下記の要領でご応募ください。

記

- (1) 申請者の資格：学術評議員である日本病理学会会員
- (2) 派遣期間：平成 13 年度後半から平成 14 年度前半の間、2 週間程度
- (3) 派遣人員：2~3 名
- (4) 派遣経費：1 名 30 万円
- (5) 募集締切：平成 13 年 9 月 30 日(当日消印有効)

派遣会員の選考は、国際交流委員会で行い、理事会に諮り決定いたします。申請にあたっては、別途様式を用意してありますので、社団法人日本病理学会事務局までお申し出ください。なお、本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局もしくは国際交流委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

国際交流委員長：

TEL 03-3547-5241 FAX 03-3248-0326 (広橋説雄)

3. 海外病理学会会員招聘事業について (公募のお知らせ)

日本病理学会は、実績のある海外病理学会会員が、日本病理学会総会ならびに各種セミナーにおいて講演等を行うため来日する際の援助を行います。日本病理学会会員の皆

様から、このような海外病理学会会員招聘の企画を募集いたします。下記の要領でご応募ください。

記

- (1) 招聘対象：海外病理学会会員（本年度はイギリス病理学会ならびにドイツ病理学会会員とする）
- (2) 招聘期間：平成14年4月1日から平成15年3月31日の間に招聘する
- (3) 招聘人員：2～3名
- (4) 助成額：1名20～30万円（但し、日本病理学会総会時は1名20万円、これ以外の時期は1名30万円を目安とする）
- (5) 募集締切：平成13年9月30日（当日消印有効）

国際交流委員会で候補企画を選考し、理事会において決定いたします。申請にあたっては、別途様式を用意してありますので、社団法人日本病理学会事務局までお申し出ください。本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局もしくは国際交流委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

国際交流委員長：

TEL 03-3547-5241 FAX 03-3248-0326（広橋説雄）

4. 海外病理学会参加支援事業について（公募のお知らせ）

日本病理学会は、日本病理学会の若手会員が、国際的視野を養い病理学研究の発展に貢献できるように海外の病理学会に参加し、研究発表を奨励するための助成を行います。

国際交流委員会は、今年度の本事業に基づく参加会員を募集いたします。下記の要領でご応募ください。

記

- (1) 応募資格：40歳未満（応募時）の日本病理学会会員で、日本病理学会学術評議員の推薦を受けた者
- (2) 対象学会：International Academy of Pathology (IAP), American Society for Investigative Pathology (ASIP), European Society of Pathology (ESP), World Association of Societies of Pathology (WASP) など

- (3) 募集人員：10名
- (4) 助成額：1件10万円
- (5) 応募締切：随時
- (6) 決定の時期：年2回

1回目平成13年秋期特別総会（平成13年9月までの分）

2回目平成14年春期総会（平成14年3月までの分）

国際交流委員会で候補者を選考し、理事会において決定いたします。申請にあたっては、別途様式を用意してありますので、社団法人日本病理学会事務局までお申し出ください。演題が採択されている場合は、採択通知の写しを添付してください。演題の採否が未定の場合は、日本病理学会理事会の決定を経ても本支援事業への採否は保留となります。演題採択後に演題採択通知を日本病理学会事務局まで提出してください。演題採択通知受理によって本支援事業への採択が確定します。会報等にて報告発表します。本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局もしくは国際交流委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

国際交流委員長：

TEL 03-3547-5241 FAX 03-3248-0326（広橋説雄）

お知らせ

1. 第3回日本医学会特別シンポジウム「医とゲノム」について

会期：平成13年9月6日～7日

会場：札幌プリンスホテル国際館パミール

連絡先：北海道大学大学院医学研究科統合生理学講座内
第3回日本医学会特別シンポジウム事務局
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
TEL 011-706-7871 FAX 011-706-7871

2. 千里ライフサイエンス技術講習会 第27回「蛍光タンパクマーカーを用いた機能分子と細胞内小器官の局在化ベクター」について

会期：平成13年9月7日

会場：千里ライフサイエンスセンター

連絡先：(財)千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル

TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002

会 員 各 位

社団法人日本病理学会
理事長 秦 順一

「会費等の口座引落し」についてのお願い

日本病理学会では、会員の会費及び部会費の納入にあたっては会員の利便性と事務の省力化などを図るため、平成14年度から金融機関による『口座引落』を実施させていただくことになりました。

このことについては、会員各位には既に学術評議員会や学会総会においてお諮りしてきたところですがその計画が下記のとおり進んでまいりましたので、ここにあらためてご案内させていただき、ご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

記

1. 取扱年度 : 平成14年度から
2. 会費等の種類 : 年会費及び認定病理医部会費
3. 金融機関 : 銀行（都市銀行、地方銀行、信託銀行）、信用金庫、信用組合等の本・支店及び郵便局
4. 会員のメリット :

- (1) 振込みのために金融機関へ出向く必要はありません。
一度の手続きで完了します。（解約時は金融機関への届出は不要）
 - (2) 振込み手数料負担が無くなります。
 - (3) 通帳等に記録が残ります。
MFS（ビヨウリカイヒ）と記載。
5. 手続き願うこと : 会員は、『預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書』により、各自の金融機関名、本・支店名・口座番号を記載し、日本病理学会事務局に返送する。なお、この『預金口座振替依頼書』は、後日(平成13年9月頃)発送いたします。
6. 収納代行機関 : 株式会社三井ファイナンスサービス（MFSと略称）
7. 口座引落日予定 : 平成14年3月25日（月）

2001 年度
病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催, 日本病理学会後援

日 時 : 平成 13 年 11 月 29 日 (木) 9:00~17:15

場 所 : 東医健保会館 (東京都新宿区)

教育シンポジウム 9:00~12:00

主題 : "gastrointestinal stromal tumor (GIST)" をめぐる諸問題

モデレーター : 加藤 洋 先生 (癌研究所病理部)

: 橋本 洋 先生 (産業医科大学第一病理学)

シンポジスト : 柳澤 昭夫 先生, 朴 成進 先生, 加藤 洋 先生 (癌研究所病理部)

: 岩下 明德 先生 (福岡大学筑紫病院病理部)

: 桜井 信司 先生 (自治医科大学病理学)

: 鳥橋 茂子 先生 (名古屋大学大学院医学研究科機能形態学講座分子細胞学分野)

: 廣田 誠一 先生 (大阪大学大学院医学系研究科病理病態学)

◎当日はご自由にご参加下さい。(会場費 3,000 円, ハンドアウト代含む) その時に認定病理医の更新に必要な参加証をご用意いたします。5 単位が得られます。

スライドセミナー 13:00~17:15

1 時限目 13:00~15:00

*A. 骨の病理

野島 孝之 先生 (金沢医大臨床病理学)

(腫瘍および腫瘍様病変)

B. 内分泌腫瘍

長村 義之 先生 (東海大総合診療学系病理診断学)

C. 乳腺の病理と細胞診

土屋 眞一 先生 (長野県がん検診・救急センター)

D. 腎 (腎生検を含む) の病理

田口 尚 先生 (長崎大病理学第二)

2 時限目 15:15~17:15

*A. 精巣腫瘍

森永正二郎 先生 (自治医大病理学)

B. 卵巣腫瘍

手島 伸一 先生 (同愛記念病院研究検査科)

C. 唾液腺腫瘍

長尾 孝一 先生 (元帝京大市原病院病理部)

D. 肺生検 (TBLB) の病理

松原 修 先生 (防衛医大病理学第二)

*印は新規のものです。

認定病理医の資格更新単位として 10 単位が得られます。

連絡先 : IAP 日本支部教育委員長

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

日本大学医学部病理学教室

根本 則道

TEL 03 (3972) 8111 (内) 2256

FAX 03 (3972) 8163

IAP 日本支部事務局

〒359-8513 所沢市並木 3-2

防衛医科大学学校病理学第二

松原 修

TEL 042 (995) 1507

FAX 042 (996) 5193